

羅漢山の岩

阿蘇の外縁の南西部に位置する羅漢山の突き出た岩は、阿蘇で最も古い地形の一部です。突き出した安山岩質の火砕岩は、阿蘇カルデラができる前の 220 万年前から 45 万年前に形成されたものです。

これらの奇岩は、何世紀にもわたって崇拝の象徴でした。何百年も前に、仏門の修行者はこの地域に十六羅漢という仏陀の弟子たちの像を拝した寺を創建しました。寺は激動の戦国時代（1467-1568）に破壊され、現在は像のみが残っています。

この地域は中国の一部の風景に似ているため、中国を舞台にした映画やテレビドラマの撮影場所として使用されたことがあります。

付近にあるもう一つの観光スポットは、深い滝つぼである恐ヶ淵（おそろしがふち）です。その奥深くにある洞窟は、滝の水が落ちる音を響かせていると言われています。